

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70017	
事業名	動物愛護管理推進費						
評価担当課	所 属	保)保健所 動物愛護管理センタ			電話番号	011-736-6134	
施策名	生物多様性が広く理解され、地域本来の生態系が維持された中で自						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	動物愛護に対する市民の関心が高まっている一方、依然として理解不足や不適切な飼養に起因するトラブルが発生しており、愛護と管理の両面から未然防止の取組をより強化していく必要がある。「人と動物が幸せに暮らせるまち」の実現に向けて、市民への教育・普及啓発プログラムを充実させていく必要がある。					
	事業内容(何を実施し)	新センター多目的ホールを活用し、動物の適正な飼育方法の啓発を目的とした体験型普及啓発プログラムを20回実施し、多くの市民や自治体関係者の参加があった。また、メディア取材も多く、新センターの周知を実施することができた。 新センターオープン後の体験型普及啓発プログラムの実施内容は以下の通り。 ○体験プログラム内訳 動物愛護団体による講演・勉強会 3回 北海道新聞こども記者施設案内 1回 犬猫はじめて講習会 4回 動物虐待モデル事業獣医師職員座談会 1回 教育機関等対象の施設案内・講習会 5回 警察職員、福祉関係職員向け講習会 1回 本市ボランティア、動物愛護団体スタッフ向け講習会 1回 犬の適正飼育講習会 1回 猫の適正飼育講習会 2回 子ども向けワークショップ 1回					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	市民の動物愛護への理解を深め、不適切な飼育に起因するトラブルを減らしてくとともに、犬猫の殺処分0を継続したい。					
	他都市の状況	都道府県の56%、政令市の53%、中核市の25%が外部への委託による教育・普及啓発事業を実施している。					
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外					
令和4年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工		
令和5年度予算額	5,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1 人工		
令和5年度決算額	4,971 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1 人工		
令和6年度予算額	3,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1 人工		
指標	アウトプット活動指標1	体験型プログラムの年間実施回数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		0	12	20	36	36	36
	アウトカム成果指標1	犬猫の殺処分数(予後不良個体の人道的見地からの殺処分)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		0	0	0	0	0	0
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	令和5年度は動物愛護管理センターオープニングセミナーをはじめとして多くの啓発イベントを実施した。また、適正飼育啓発、譲渡促進のために目標を上方修正した。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
指標2の評価、未達理由、今後の考え方	今後も殺処分0を継続していくことを目標としている。						
今年度の見直し内容	市民ニーズの高い「ペットの災害対策」を講習会に新たに加えるなど、テーマの見直しを図った。						
来年度以降の方向性	今年度のプログラムの実施状況を分析し、さらに市民のニーズにマッチした講習会等を実施し、適切な動物愛護の考え方を普及啓発していく。						